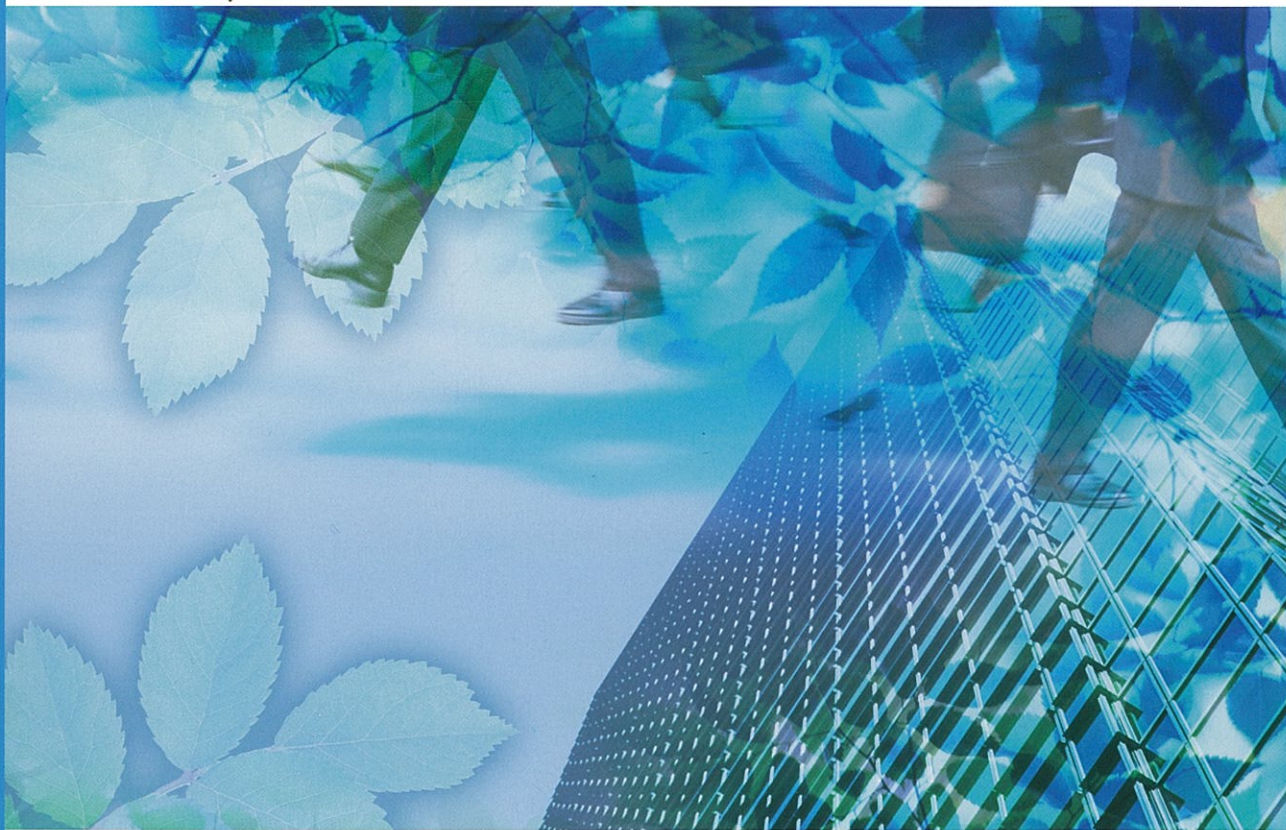


新訂版

ビジネス基礎

一橋大学名誉教授 小松 章
武蔵野大学教授



東京法令出版

(2) エネルギー問題とビジネス

経済成長にともなうビジネスの発展は世界的に大量消費社会をまねき、人類にとって天然資源の枯^こ渴^{かつ}という問題を生じさせている。商品やサービスの生産に必要な地球上の天然資源には限界があるために、このまま使⁵い続けると、やがて天然資源が尽き果ててしまう。特に、世界のエネルギーの中心になっている石油や石炭などの化石燃料は有限の資源であり、これに代わるエネルギーの開発が強く求められている。エネルギーの安定供給はビジネスに不可欠であるため、今日では、再生可能エネルギーとして、風力や太陽光に加え、バイオ燃料^①や地中熱利用などの導入と普及がはかられている。また、水素と酸素の化学反応を利用して発電する燃料電池^②の開発と実用化も進められている。

「経済成長」・「環境保全」・「エネルギー需給安定」は、それぞれ密接な関係があり、この三者を調和させ、同時にそれぞれの目的を達成するような努力が求められている。その取り組みの一つとして、気候変動枠組条約^③などが締結され、世界各国が協調して問題の解決にあたりようとしている。



④ 3Rキャンペーンマーク

① 生物体（バイオマス）を利用して製造した燃料。

② 燃料電池の原材料となる水素は、灯油や液化石油ガス（LPG）、天然ガスなどさまざまな燃料から取り出せる。

③ 気候変動に関する国際連合枠組条約のこと。地球温暖化問題などに対する国際的な枠組みを設定した条約である。

「三つのE」の調和

